

立山黒部ジオパーク

立山黒部ジオパークは、富山市から下新川郡朝日町までの富山県東部一帯に広がるジオパークです。この地域には、氷河を抱く3,000m級の立山連峰から深さ1,000mの「天然のいけす」富山湾まで、高低差4,000mのダイナミックな地形と、約38億年に及ぶ歴史を物語る大地の上に、多様な動植物、おいしい水、独特の文化などが凝縮された、世界に誇れる地域です。

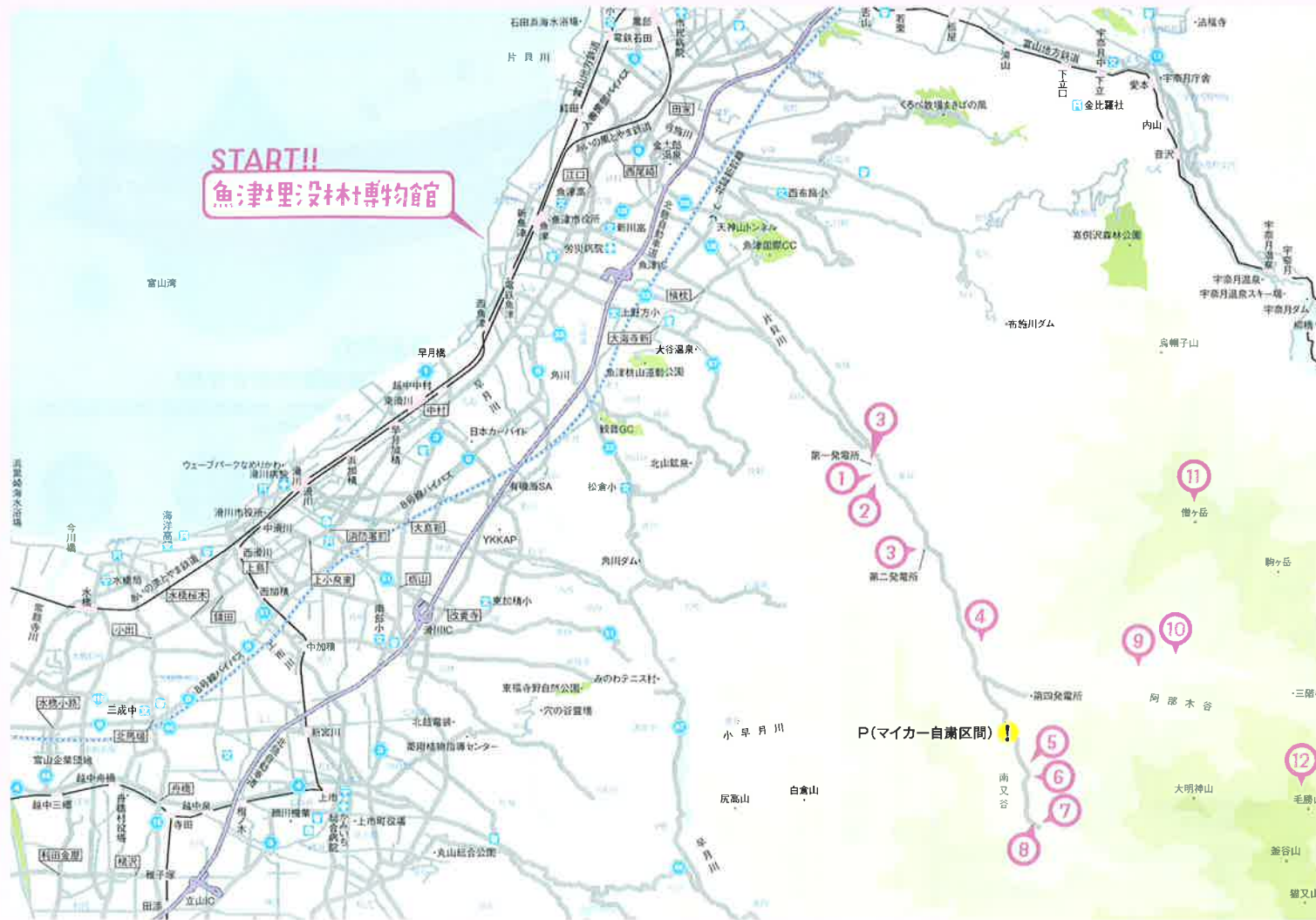


ジオパークとは

ジオパーク(大地の公園)とは、大地の遺産である地域の自然や文化を学び、楽しみながら守り次世代へ伝えていく活動です。

大好き!
ジオパーク!

製作・発行: 特別天然記念物 魚津埋没林博物館
〒937-0067 富山県魚津市駅通り814
TEL: 0765-22-1049
http://www.city.uzoza.toyama.jp/nekolnd/
2015年11月発行



博物館から飛び出そう!

魚津のジオめぐりマップ

“片貝川上流編”
UOZU GEO MAP



大地と生命の時間を体感する
12のポイント

1 トキノキの森の奥で優美に流れる



滝滝

3段の合計落差約30mを屈曲しながら流れ落ちる。滝の基盤は約6,600万年前の火砕流が冷えて固まってできた溶結凝灰岩。滝に至る遊歩道は大きなトキノキの林を通る。この林は麓の集落を雪崩から守る役割も持っている。

(魚津市平沢)

3 古いものは100年以上の歴史



水力発電所群

川の流れの中に設置された取水口から水平に近いトンネルで下流の山腹まで水を導き、落差をつけて発電する。発電に使った水は再び取水され、下流の発電所へ送られる。ダムを作らず急峻な地形を活かした発電方式。

(魚津市平沢ほか)

5 水循環の守り神



蛇石

花崗岩に入った輝緑岩の岩脈が大蛇のよう。昔、猟師に撃たれた大蛇がこの石に巻き付いて息絶え、水害が襲ったという伝説がある。龍石ともいい、現在も水神として祭られる。

(魚津市片貝川南又谷)

7 岩と雪とともに生きた杉



洞杉

巨大な転石の上に異形のスギ巨木が群生する景観は、多雪など地域特有の環境の中で1000年にも及ぶ年月をかけて作られた。生育地は魚津市の天然記念物に指定。積雪期は見学不可。

(魚津市片貝川南又谷)

2 真夏に冷風を吹き出す不思議な穴



風穴

岩と岩の小さな隙間から、夏でも10℃以下の冷たい風が吹き出す。この斜面は崩壊した岩で作られた崖錐堆積物。その内部の網の目のような隙間で冷やされた空気が傾斜に沿って流下し吹き出していると考えられる。

(魚津市平沢)

4 浸食の激しい急流の宿命

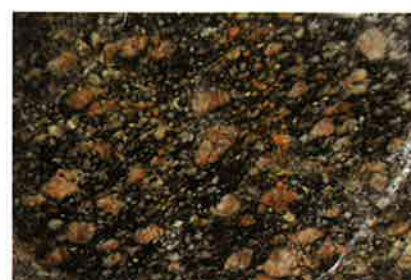


砂防ダム群

浸食・運搬作用の大きい河川上流部では、河床に土砂を止め、流れを緩和して土砂災害を防止する砂防ダムが作られる。特に急流河川では、短い区間に落差の大きな砂防ダムが連続する。

(魚津市平沢ほか)

6 ピンクの模様がポイント



眼球片麻岩

約2.6億年前に花崗岩類が地下深くで熱と圧力を受けて変化した岩石。ピンク色のカリ長石という鉱物の結晶が大きく成長した目玉模様から眼球片麻岩と呼ばれる。

(魚津市片貝川南又谷)

8 いっ、どこからやってきた?



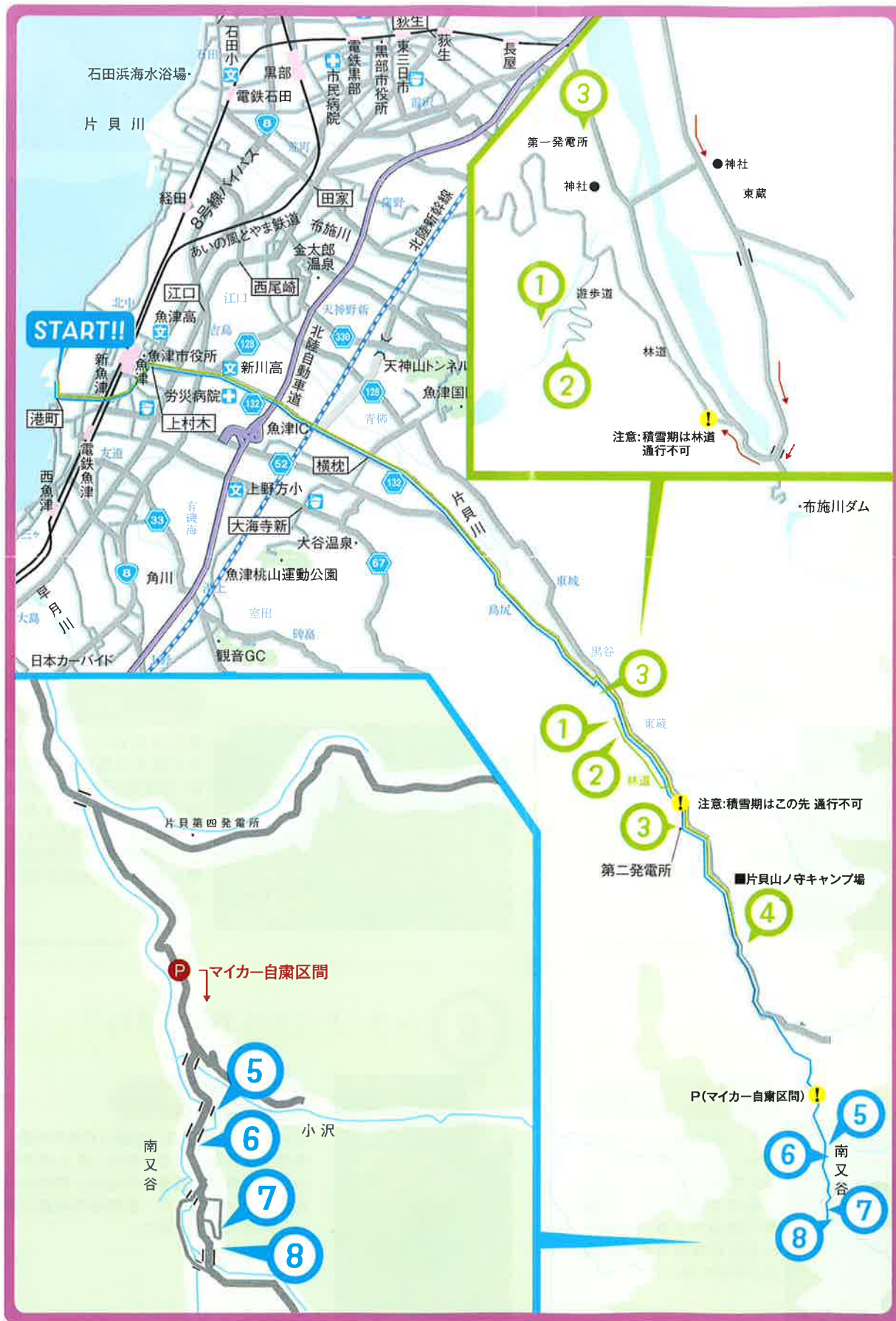
岩屋と転石

巨岩の下の空間は昔の猟師らの宿泊場所。洞杉も生えるこれらの岩は、最上流部の山岳から流され堆積した転石。現在の川底は数十m下にあり、堆積後の浸食に要した時間は万年単位か。

(魚津市片貝川南又谷)

ピックアップモデルコースマップ

選んで巡ろう! ピックアップモデルコース



Aコース 大地を流れ落ちる水の力 (距離が長いので自家用車移動がおすすめ)

※沖滝・風穴周辺はクマ・スズメバチ等の生息地です。鈴を携帯するなど十分にご注意下さい。
※片貝山ノ守キャンプ場より先は携帯電話は通じません。

START! 魚津埋没林博物館

- 12 km 県道314号線、128号線、市道経由
- 見学5分程度 片貝第一発電所 黒谷橋左岸上流側
- 遊歩道往復+ 2 km 市道、林道経由
- 見学10分程度 沖滝遊歩道入口〜沖滝 途中橋のない沢を渡るので注意 数台駐車可 林道脇に車
- 800 m 遊歩道徒歩
- 見学10分程度 風穴 1 沖滝遊歩道上部
- 2 km 林道、県道132号線経由
- 見学5分程度 片貝第二発電所 3 県道沿い
- 800 m 県道132号線経由
- 見学15分程度 片貝山ノ守キャンプ場 砂防堰堤見学可
- 1.6 km 県道132号線経由
- 見学10分程度 高木堰堤 4 大規模な3段の堰堤を橋の上から見学

■ 全体所要時間の目安 自家用車で2.5時間程度

Bコース 大地の歴史を秘めた岩石とスギ巨木 (自家用車+徒歩(自家用車自粛区間あり))

※南又谷一帯はクマ・スズメバチ等の生息地です。鈴を携帯するなど十分にご注意下さい。
※南又谷一帯は携帯電話は通じません。

START! 魚津埋没林博物館

- 20 km 県道314号線、128号線、市道経由
- 見学15分程度 南又谷駐車場 (P) 最終トイレ (P)
- 1.2 km 市道徒歩
- 見学5分程度 蛇石 5 本体は近く川原に産出 川原にはしま模様の片麻岩が多い
- 200 m 遊歩道徒歩
- 見学5分程度 眼球片麻岩露頭 6 放棄された古い集の付近 露の上に生育したスギにも注目
- 1 km 市道徒歩
- 観察20分程度 洞杉 7 整備された木道の観察路
- 1 km 市道徒歩
- 見学10分程度 岩屋(杉ノ尾の岩屋) 8 新土倉橋右岸
- 2.5 km 市道・林道徒歩60分程度
- 見学10分程度 南又谷駐車場 (P) 20 km 魚津市街地まで

■ 全体所要時間の目安 自家用車+徒歩で4時間程度

9 大陸の衝突がつくったしま模様



飛騨片麻岩類
約2.5億年前、大陸の衝突で高い熱と圧力を受けてできた飛騨片麻岩。富山県東部に広くみられ、片貝川上流では塩基性片麻岩類や石灰質片麻岩などが随所で観察され、川原にしま模様の石がごろごろしている。
(魚津市片貝川東又谷)

10 晴れた川原でキラキラ光る石



結晶片岩
片貝川の川原で見られるキラキラと光る石の中に、上流に分布する宇奈月変成帯に産する結晶片岩がある。この結晶片岩も飛騨片麻岩類と同様に約2.5億年前の大陸の衝突でできた岩石。
(魚津市片貝川東又谷)

11 お坊さんが水の恵みを教えてくれる



僧ヶ岳
春から初夏、残雪と山肌が描く模様=雪絵が「僧」などに見えることが山名の由来。雪絵の変化が農作業の時期などの目安とされてきた。魚津市側の登山道は急登で上級向き。富山県立自然公園。

12 海岸から見える巨大な雪渓を抱く



毛勝山
標高2415m、魚津市の最奥部で片貝川の源流となる山岳。海岸からも見える巨大な雪渓は、海、山、里をめぐる水循環のスケールを実感させる。登山は上級者でも困難。中部山岳国立公園。